

歩いてまわろう

新四国のみち NEWS

地域主体のみちづくり・まちづくりを支援します！

第2号（平成14年11月26日）

「新四国のみちサミット」の開催情報

新四国のみち推進協議会（四国地方整備局、四国四県）では、各地区の取組の推進を図るため、各地区の代表者が一堂に会して意見交換を行う「新四国のみちサミット」を11月28日（木）～29日（金）に高知県野市町で開催します。

13の認定地区は、魅力的な地域づくりを進めようとする思いは共通ですが、認定以前から積極的にイベントをしていた地区や、これから具体的な取組を進めようとしている地区、施設整備がある程度出来上がっている地区など取組や現状は異なっており、当面の課題や悩みごと地区それぞれだと思います。そのような各地区の代表者が一堂に会し、地区相互の交流を深めながら、それぞれの活動を進めていく上での問題点や課題等について幅広く情報交換ができればいいと考えて企画しました。意見交換の場には2名のアドバイザーの方にも参加していただきます。有意義なサミットとなることを期待しています。（次号の新四国のみちニュースで開催結果を掲載予定）

日時：意見交換 平成14年11月28日（木）13：30～16：30

現地見学 平成14年11月29日（金）9：00～（高知県西野・大谷地区）

場所：のいちふれあいセンター中央公民館（第1・2研修室）

高知県香美郡野市町西野534-1

主催：新四国のみち推進協議会 後援：（社）四国建設弘済会

アドバイザー：NPO地域交流センター四国事務所長 兼松 方彦 氏

高知のみちづくりを考える会代表 畠中 智子 氏

徳島県鴨島地区で鴨島地区マップを改訂

徳島県鴨島地区では、この度、歩きへんろのための地図を改訂しました。

本年4月に発行した初版の1万部が好評で、1年を待たずに増刷の必要が生じたもので、お遍路さんらから実際に使ってみての意見を反映して歩きへんろに必要な情報を強化しました。

形態はA3版の両面印刷で、片面に10番札所切幡寺から11番札所藤井寺までを、もう片面には11番札所藤井寺から12番札所焼山寺までの遍路道を掲載し、ポケットサイズに折り畳めて持ち運びに便利になっています。

今回は3万6千部を印刷。札所はもちろんのこと、町周辺の観光施設や宿泊施設などで無料で手に入れることができます。



徳島県神山地区で石積みボランティアの試験施工

徳島県神山地区では、11月24日(日)に石積みボランティアの試験施工を行いました。

これはへんろみちの補修が必要な箇所の内比較的補修が容易なところをボランティアで施工しようとするもので、ボランティア技術者の育成と、自らの手で修復することによって愛着の持てる道づくりを目指しています。

へんろみちは険しい山中を通っており、車での資材の搬入や重機での施工は困難な箇所が大部分。参加者は現地での石の調達から始まって運搬・施工について、今後継続的に実施していくための問題点を探りました。

参加者は地元の石積みの経験者や徳島大学の学生やボランティア希望者15名。当日は9時に道の駅「温泉の里神山」に集合し、午前中に1本杉付近の石積み1箇所を修復した後、午後からは次回修復箇所の現地調査を行いました。



香川県長尾地区「新四国のみち」ウォーク・シンポジウム「いやしのくに四国」を開催

香川県さぬき市長尾町でさぬき市誕生記念のイベントの一環として10月20日(日)、志度寺～長尾寺～大窪寺とへんろ道を歩く「さぬき・遍路88ウォーク」、いやしのへんろ文化を考えるシンポジウム「いやしのくに・四国」が開催されました。

86番札所志度寺から結願所大窪寺までを歩く「さぬき遍路・88ウォーク」には約250名が参加。時々小雨降る曇天の秋空の中元気に23kmの「結願への道、いやしのへんろ道」を歩きました。途中の長尾寺や前山おへんろ交流サロン、多和小学校では地元婦人会の甘酒、うどん等の接待をうけ心ふれあうさわやかな体験で心地良い汗をかくことができました。

「ツインパルながお」で開催された四国4県の「いやしのくに四国交流推進協議会」主催のシンポジウム「いやしのくに・四国」には、県内外から約1,000人の方が参加。作家の早坂暁さんの「巡る心・迎える心」と題した基調講演が行なわれ、パネルディスカッションでは歩き遍路で札所を巡った経験のあるドイツ文学者の池内紀さん・俳優の黒田杏子さん・俳優の山口崇さんがパネリストとして登壇され、歩き遍路が見直されていること・へんろ道の保存等、自らの経験を基に遍路文化について意見を交わしました。



新四国のみち事務局も参加しました。

「さぬき遍路・88ウォーク」に新四国のみち事務局の黒木も家族を連れて、上司(整備局の部長、事務所長)と一緒に参加しました。私たちが参加したのは経由地の道の駅「ながお」から終点の88番札所大窪寺までの間で、アップダウンのあるコースでしたが全員楽しく歩き終えることができ満足感を味わえました。歩き終えた後に地元婦人会の方から頂いたお接待のうどんの味は格別で、何より印象に残りました。

参加者はさぬき市周辺だけでなく、はるばる香川県西部の方もいらっしゃったとのこと。こういったイベントにより、離れた地域の人同士が顔見知りになれたり、地域間の交流のきっかけになったりするのだと思いました。また、開催地区の良さを大きくPRすることが出来たとも思います。
(黒木)

香川県善通寺地区が「都市景観大賞・美しいまちなみ優秀賞」と「手づくり郷土賞」をダブル受賞

香川県善通寺地区が都市景観大賞「美しいまちなみ賞」を10月4日(金)に、つづいて11月15日(金)には「手づくり郷土(ふるさと)賞」を受賞しました。この二つの賞は、美しい町並みを創り育てるために地域と行政が協力し、ハードとソフトを含めた総合的な取組が行なわれている地区を全国から募集し、その中で特に優れた地区を表彰しています。

善通寺地区は歴史ある町並みを活かす為「くらしのみちづくり事業」「まちづくり総合支援事業」で人を優先した道路づくりを進める一方、里親制度による市民ボランティアの清掃美化活動が評価され今回の受賞となりました。詳細は四国地方整備局のホームページをご覧ください。



四国地方整備局「美しいまちなみ賞」受賞記事アドレス

http://www.skr.mlit.go.jp/pres/h14backnum/kensei/021002/021002/keikan_machinami.pdf

四国地方整備局関連記事アドレス「手づくり郷土賞」受賞記事アドレス

http://www.skr.mlit.go.jp/pres/h14backnum/kikaku/021114/021114/hurusato_dentatusiki.pdf

愛媛県砥部地区でスタンプラリーを実施

愛媛県砥部地区では、11月2日(土)～4日(月)の3日間、町内外の方々に砥部焼の里を散策していただくことを目的として、スタンプラリーを実施しました。

「とべアートの里・美と技の祭典2002」の開催に併せて実施したもので、祭典のイベント会場や窯元など32箇所にポイントを設置。10ポイント以上回っていただくことが目標で、169名の方々がこれを達成しました。

参加者からは「窯元巡りで改めて砥部町の面白さに興味を持った」「砥部焼の良さ、手づくりの温かさとアーティストの技に触れて感動した」といった嬉しい意見が多数寄せられました。また、「窯元に行くのに迷ったので、道路の所々に目印や案内があれば一層良い」「案内パンフレットをもう少し分かりやすくしてほしい」といった今後課題を残す意見もありました。



愛媛県卯之町地区で地区推進協議会を開催

愛媛県宇和町卯之町地区で、本年度1回目の整備推進協議会が10月11日（金）に開催されました。今回の協議会は、今年度策定を予定している卯之町地区の整備計画の策定にあたり、整備方針の確認の意味も含めて開催されたもので、平成13年度に実施した現地調査結果等から提案された内容の確認、他地区の整備状況等について事務局より説明を行いました。

卯之町地区の整備計画については、12月初旬を目途に整備計画原案を策定することとしており、平成13年度に委員より提案された案や、他の認定地区の先進事例等をふまえ、卯之町地区ならではの計画にすることについて議論が行われました。次回、協議会で計画原案を審議する予定。

また、商工会独自の取組として、ルートの一部区間での街路灯の更新や、商店街の空き店舗のシャッターに「レンゲ」の絵を描きイメージアップを図ることを検討していることなどが報告されました。



高知県大野見地区新四国のみちハイキング「人と自然が輝く源流のみち」の開催情報

高知県大野見地区で新四国のみちハイキング「人と自然が輝く源流のみち」が12月1日（日）に開催されます。

大野見村青年の家をメイン会場に行なわれ、大野見ミニ88ヵ所巡り・四万十源流の家等を巡るコース。また、昼食には大野見村婦人部等による郷土料理のバイキングがふるまわれる予定です。詳細は国土交通省中村工事事務所のホームページに掲載中。

参加募集は終了しました。

中村工事事務所関連記事アドレス

<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/kisha/html/200211061412.html>

高知県柏島地区新四国のみちハイキング「自然とふれあう黒潮のみち」を開催

高知県大月町柏島地区で新四国のみちハイキング「自然とふれあう黒潮のみち」が11月16日（土）、開催されました。

当日は約100名が参加し、柏島島内の史跡探索やグラスポートによる柏島周辺のサンゴ礁の見学及び大堂海岸からお猿公園・観音岩・柏島までの自然散策を行い、昼食は柏島漁協婦人部による海の幸を使ったバイキング料理のもてなしが行われました。参加者からも大好評でした。

これに先立ち、第4回柏島地区委員会が9月25日（水）、大月町内で開催されました。委員会には地区の代表者や行政関係者等6名が参加。主にイベント計画（新四国のみちハイキング）について話し合いが行われました。



高知県梼原町東区・太郎川地区が「手づくり郷土賞」を受賞

高知県梼原町東区・太郎川地区の神幸(みゆき)橋が「手づくり郷土(ふるさと)賞」を11月21日(木)に受賞しました。この賞は国土交通大臣表彰制度で、昭和61年度に創設。地域の個性や魅力を創出し地域のシンボルとなっている社会資本や地域活動を全国に広く紹介することを目的としています。

新四国のみちルートにある神幸橋は四万十川支流の梼原川に架かる屋根付きの木橋となっており、橋の中間の踊り場には、木製ベンチも設置し、木のぬくもりを感じさせるものとなっています。今後の活用については、今回の受賞を踏まえて橋の利活用や参加型イベント等を考えていきたいと思っています。尚、受賞に関する詳細は四国地方整備局のホームページをご覧ください。



四国地方整備局関連記事アドレス「手づくり郷土賞」受賞記事

http://www.skr.mlit.go.jp/pres/h14backnum/kikaku/021114/021114/hurusato_dentatusiki.pdf

～ 編集後記 ～

今回紹介したように、善通寺地区で進められている街並み景観整備、梼原地区の神幸橋の取組が表彰されました。両地区の取組は、特徴的な施設(ハード)だけでなく、地域ぐるみで育てていくとする活動(ソフト)も優れていることが評価されたものです。

新四国のみちはソフトとハードを一体として進めていく取組であり、各地区でも「新四国のみちとしてみんなで考えたからこそ地区がこんなによくなった」という成果が見えてくればいいと思います。事務局としても、各地区での活動の参考となる先進事例などの情報提供、各地区の取組のPRなどを積極的に進めていきたいと思っています。(黒木)

11月中旬、紅葉狩りがてら、新四国のみち神山地区の焼山寺に出かけました。当日は天気も良く、山の上から見下ろす景色や山道の雰囲気は日常から離れて爽快な気分させてくれました。ちょっと困ったのは地区にたどり着くまでのアクセス道路が狭かったこと。遍路ツアーの大型ワゴン車も多くて、対向車にも少なからず迷惑をかけてしまいました。

新四国のみちを各地区で考えていく中で、地区内の歩くみちの魅力だけでなく、地区まで安心してドライブしてこれる道づくりもいっしょに考えていくことが、地区外の人に訪れてもらうためにも大事なことだと感じました。(花鳥)



編集・発行

新四国のみち事務局

四国地方整備局道路部地域道路課 黒木、近藤

TEL 087-851-8061(代表)

HPアドレス：<http://www.skr.mlit.go.jp/road/sinsikok/index.html>

E-Mail：kuroki-k8812@skr.mlit.go.jp , kondou-m8812@skr.mlit.go.jp